

奈良工業高等専門学校		開講年度	平成31年度 (2019年度)		授業科目	情報工学概論
科目基礎情報						
科目番号	0018		科目区分	専門 / 必修		
授業形態	講義		単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	情報工学科		対象学年	1		
開設期	通年		週時間数	2		
教科書/教材	「情報の表現とコンピュータの仕組み」ムイスリ出版 青木征男 著					
担当教員	岩田 大志					
到達目標						
前期中間試験： 1) 2進数, 10進数, 16進数の相互変換と実数表現を理解する 2) コンピュータ内部での文字の表現法を理解する 前期末試験： 1) 2の補数について理解する 2) 符号絶対値表現, 2の補数表現, における数値の表現範囲の違いを理解する 3) コンピュータの基本構成と動作について理解する 後期中間試験： 1) アドレス修飾の各方式を理解する 2) COMET II コンピュータの内部構造と動作について理解する 3) CASL II の基本命令を理解する 4) 記憶階層について理解する 学年末： 1) Webについて理解する 2) HTML5/CSS3について理解する 3) JavaScriptについて理解する						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	情報工学の基礎としてコンピュータの仕組みと動作について理解し説明できる。		情報工学の基礎としてコンピュータの仕組みと動作について理解できる。		情報工学の基礎としてコンピュータの仕組みと動作について理解できない。	
評価項目2	基本原理となる情報の表現法, 特に2進数による情報の表現法について理解し説明できる。		基本原理となる情報の表現法, 特に2進数による情報の表現法について理解できる。		基本原理となる情報の表現法, 特に2進数による情報の表現法について理解できない。	
評価項目3	アセンブリ言語によるプログラミングの基礎について理解し説明できる。		アセンブリ言語によるプログラミングの基礎について理解できる。		アセンブリ言語によるプログラミングの基礎について理解できない。	
学科の到達目標項目との関係						
準学士課程 (本科1～5年) 学習教育目標 (2)						
教育方法等						
概要	情報工学の基礎としてコンピュータの仕組みと動作について学ぶ。基本原理となる情報の表現法, 特に2進数による情報の表現法について学ぶ。さらに, アセンブリ言語によるプログラミングの基礎について学ぶ。					
授業の進め方・方法	座学による講義が中心である。授業をよく聞き, その場で理解することが大切である。分からないことがあれば, 積極的に質問すること。本講義では理解を深めるための課題を出題するので, 必ず提出すること。					
注意点	関連科目 デジタル回路, 情報リテラシーなどとの関連が深い。 学習指針 数式的な取り扱いが多いが, 各自の様々な経験や身近な体験を通して説明できるまで理解することが重要である。					
学修単位の履修上の注意						
授業計画						
		週	授業内容		週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	ガイダンス		コンピュータの歴史, コンピュータの種類について説明できる	
		2週	コンピュータと2進数		2値状態, 2進数, 情報の表現方法について説明できる	
		3週	数値の表し方(1)		位取り記数法を用いて2進数, 10進数を表現できる	
		4週	数値の表し方(2)		位取り記数法を用いて8進数, 16進数を表現できる	
		5週	数値の表し方(3)		実数を2進数, 8進数, 10進数, 16進数で表現できる	
		6週	文字コード		文字コード, パリティビットについて説明できる	
		7週	前期中間試験		授業内容を理解し、試験問題に対して正しく解答することができる	
		8週	試験返却・解答		試験問題を見直し、理解が不十分な点を解消する	
	2ndQ	9週	負数と2の補数表現		符号絶対値表現, 2の補数表について説明できる	
		10週	2進数の演算		2進数の加減乗除演算について説明できる	
		11週	2進数の演算		2進数のシフト演算について説明できる	
		12週	実数の表現		固定小数点数表現について説明できる	
		13週	コンピュータの構成		五大装置, プログラム内蔵方式について説明できる	
		14週	コンピュータの動作原理		マシンサイクルについて説明できる	
		15週	前期末試験		授業内容を理解し、試験問題に対して正しく解答することができる。	
		16週	試験返却・解答		試験問題を見直し、理解が不十分な点を解消する。	
後期	3rdQ	1週	記憶装置(1)		アクセス方法, ROMとRAMについて説明できる	
		2週	記憶装置(2)		補助記憶装置、キャッシュメモリについて説明できる	

		3週	アドレス修飾	アドレス修飾方法について説明できる
		4週	COMETII	COMETIIのハードウェア校正について説明できる
		5週	CASLII	プログラム言語の変遷、CASLIIの命令について説明できる
		6週	データ転送命令	レジスタ、メモリ間のデータ転送命令について説明できる
		7週	後期中間試験	授業内容を理解し、試験問題に対して正しく解答することができる。
		8週	試験返却・解答	試験問題を見直し、理解が不十分な点を解消する。
	4thQ	9週	Webアプリケーション	Webアプリケーションが広く用いられていることを理解する。
		10週	HTML5	HTML5を用いたWebページが作成できる。
		11週	CSS3	CSS3を用いたHTML修飾ができるようになる。
		12週	JavaScriptプログラミング1	JavaScriptを使った動的Webページを作成する
		13週	JavaScriptプログラミング2	JavaScriptを用いて簡単なゲームを作成する
		14週	IoTシステム	日常の不便な点を解消するIoTシステムを提案する
		15週	プレゼンテーション	提案したIoTシステムについてプレゼンテーションで発表する
		16週	学年末試験は実施しない	。

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	工学基礎	情報リテラシー	情報リテラシー	論理演算と進数変換の仕組みを用いて基本的な演算ができる。	4	前3,前4,前5
				コンピュータのハードウェアに関する基礎的な知識を活用できる。	4	前13
専門的能力	分野別の専門工学	情報系分野	計算機工学	整数・小数をコンピュータのメモリ上でデジタル表現する方法を説明できる。	4	前2
				基数が異なる数の間で相互に変換できる。	4	前3
				整数を2進数、10進数、16進数で表現できる。	4	前4
				小数を2進数、10進数、16進数で表現できる。	4	前5
				コンピュータを構成する基本的な要素の役割とこれらの間でのデータの流れを説明できる。	4	前13
				プロセッサを実現するために考案された主要な技術を説明できる。	4	前13
				メモリシステムを実現するために考案された主要な技術を説明できる。	4	前13
				入出力を実現するために考案された主要な技術を説明できる。	4	前13
				コンピュータアーキテクチャにおけるトレードオフについて説明できる。	4	前13

評価割合

	試験	課題	合計
総合評価割合	80	20	100
基礎的能力	80	20	100